

町長の
まち・ひと・しごと
魅力発信

～ 事業所訪問 vol.26 ～

「株式会社強矢製作所」

町内には、優れた技術を持った会社が多く存在します。事業所の持つ技術や魅力を町長自ら訪問して、目で見て、お話を伺い、住民に情報発信する「事業所訪問」を連載します。

町長の見て・聞いて・話して

第26回の事業所訪問は、2月27日に下小鹿野の強矢製作所を訪問し、強矢輝行社長にお話を伺いました。

訪問してすぐに、ご自身の中学時代の引きこもり経験があったこと、この時に漫画を描きかけを見つけ自信につながり、後の絵本づくりへの道しるべとなったこと、また、この経験は前向きな引きこもりだったので、今となっては人との絆、人との縁にも繋がり、現在の仕事に大きな影響を与えるほどの貴重な時間だったことをにこやかに話してくださいました。

現在の事業を始めるきっかけとなったのも人との縁で一台の研磨機の購入から始まり、ダイカスト仕上げの生産技術を教えてもらったことで、この仕事を若い人が魅力を感じ、明るく作業していく環境が整えば成功するという思いからとのことでした。

強矢製作所は、平成12年(2000年)に河原沢地内で創業し、平成27年(2015年)に泉田工業団地内に工場を移転されました。

案内していただいた工場内では、主に自動車の部品や電灯カバー、船舶のファン、ガスメーター等の金属加工等の幅広い製品の加工作業が手際よく行われておりました。

研磨室の作業工程では、イヤホンをつけてリズム感をとることで作業効率は上がり、更に1ミリの誤差のない高い技術力で高品質のレバー製品が作られておりました。倉庫内には、今までに加工した580種類ほどの製品が保管されていました。

社員の平均年齢は20歳代と若く、定着しているのは、社長と社員の親密度が深いこと、そして職



仕上げの作業工程

研磨作業の説明を受ける森町長



場環境の充実によるものと感じました。

創業後、20年の歳月の間には様々な困難があったが、それを乗り越えられたのは、多くの人の助けがあったと言います。社長の人柄が多くの“人”を惹き寄せるとともに、信頼しあえる社員と一致団結して努力を惜しまず、見えない所こそ、手を抜かない、信頼される品質のもと、未来を切り拓くものづくりに挑戦していく企業であると感じました。

わが社の主力製品

ダイカスト仕上げ、プレス加工、研磨加工、ブラストショット、ヘアライン仕上げ、プラスチック製品組み立てなど、様々な技術でお客様のニーズに合わせたご提案をすることで信頼を得ております。

ここに自信あり

当社の作り上げる製品は、硬い金属の固まりです。その硬い金型も、柔らかい発想で自在に伸び縮みさせます。硬くても、若い遊び心と行動力とフレキシブルな発想を持った柔軟性のある人材が武器です。社員一同が団結して取り組み、品質・コスト・納期スピードで顧客に信頼され、愛される企業を目指してまいります。

強矢社長(右) ▶



イヤホンをつけて好きな音楽を聴きながら集中力を高めることを会社として推進しています



会社概要

代 表 者 代表取締役社長 強矢輝行
従業員数 22名
創 業 2000年
所 在 地 小鹿野町下小鹿野878-1
電 話 0494-72-0214